

2022年祝日開院日のお知らせ

三菱京都病院では、下記の日程で祝日も開院しています。
平日と同様に8:30から17:00まで診察をおこないます。

開院する祝日

2022年	2023年
9月23日(秋分の日)	1月9日(成人の日)
10月10日(スポーツの日)	2月23日(天皇誕生日)
11月3日(文化の日)	3月21日(春分の日)
11月23日(勤労感謝の日)	

※すべての祝日が開院となるわけではありませんので
ご注意ください。

<http://www.mitsubishi-hp.jp>

京都府がん診療推進病院

三菱京都病院

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

救急告示病院 人間ドック・健診施設機能評価認定施設
日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省指定臨床研修病院

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地
TEL 075-381-2111 FAX 075-392-7952

予約専用ダイヤル **075-381-7811**

セカンドオピニオンをご希望の方も予約専用ダイヤルにお電話ください。

がん相談窓口(患者支援センター)【(月~金)10:00~16:00】
TEL:075-381-2111 FAX:075-392-7952

ACCESS



阪急電車

■京都線「桂駅」下車北へ徒歩15分、タクシーで約5分

お車の方

- 京都方面からは西大橋から信号4つ目左折50m左折
- 亀岡方面からは阪急のガードを越え、次の信号右折50m左折

京都市営バス

- 73系統(京都駅~洛西バスターミナル)上桂前田町下車徒歩3分
- 70系統(太秦天神川駅前~JR桂川駅)上桂東ノ口下車徒歩5分
- 69系統(みぶ~桂駅東口)上桂西居町下車徒歩10分

京阪京都交通バス

- 27・21系統(桂坂中央~京都駅前)上桂前田町下車徒歩3分
亀岡・園部方面から27・21系統への乗り継ぎは、1・2系統国道
中山(下車)乗り換え

無料送迎バス

- 阪急桂駅西口より約20分間隔で運行中
- ※開院日以外は運休しています。

【開院日】

時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33
12時		50 43
13時	10 30 50	03 23 43
14時	10 30 50	03 23 43
15時	10 30 50	03 23 43
16時		03 23 43



※予告なく変更・中止する場合がございます。
※道路事情・その他諸事情により乗車場所が移動する場合がございます。
※定員オーバー、交通事情により遅れる場合があります。ご了承ください。
※開院日以外は運休しています。

himawari

三菱京都病院 2022 spring Vol. 68

CONTENTS

TOPIC

当院のリハビリテーション
~治療からその後のフォロー体制

TOPIC

医工連携のご紹介
~当院の臨床工学技士による開発

TOPIC

患者満足度調査のご報告
新任医師のご紹介
CS活動のご報告

理学療法士が紹介!
健康ストレッチ 第13回
「骨トレ」

シリーズ「ひまわり編集部が聞く!」
整形外科 秋山 典宏 医師

骨粗しょう症の予防から治療まで
骨折するまで気がつかないって本当?



整形外科インタビュー

骨折するまで気がつかないって本当!?

～骨粗しょう症の予防から治療まで

整形外科部長 秋山 典宏

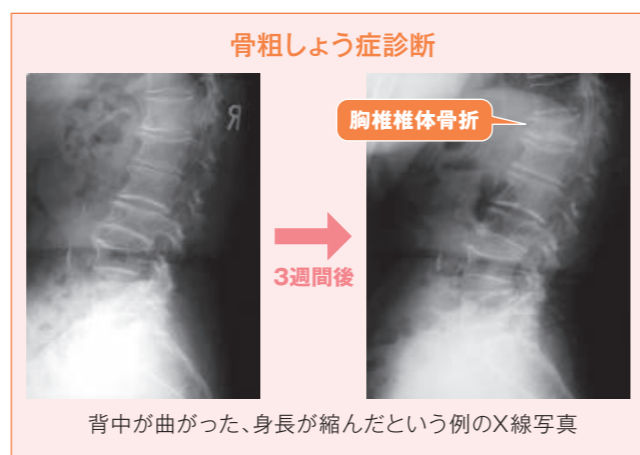


知らない間に進行する骨粗しょう症。その原因や症状、治療、予防について、ひまわり編集部が整形外科部長・秋山医師に聞きました。



ですが、特にいちばん起こりやすいのは脊椎圧迫骨折(背骨の骨折)です。

脊椎圧迫骨折は痛みを伴わないことがあります。そのため知らない間に潰れていき、気がつかない方が7割くらいだと言われていますが、放っておくとだんだん背骨が曲がってきたりします。脊椎圧迫骨折が起こっている目安には、20代のころより4cm以上身長が縮んでいたり、骨盤と肋骨の幅が狭くなったりという事例も挙げられます。



背中が曲がった、身長が縮んだという例のX線写真

骨粗しょう症とはどのような症状ですか？

その名のとおり骨がもろくなり骨折しやすくなる病気で、日本人の約10人に1人がかかっているといわれています。原因の一つは加齢で、特に女性は閉経後に骨密度が低下するため50歳以上の多くの人に見られます。怖いのは、本人が自覚できる症状がほとんどないことです。医師が診ると体の動きや腰の曲がり具合などで発見できることもありますが、多くは骨折してから来院されて、検査で初めて発見されることが多い疾患です。また、糖尿病・慢性腎不全・慢性呼吸器疾患などがある方も、骨の代謝が悪くなるため発症しやすくなります。

骨粗しょう症では、どのような骨折が多いのでしょうか？

折れやすい箇所は大腿骨の根元・手首・腕の付け根など

どのような治療をおこないますか？

保存治療、または手術治療をおこないます。大半は保存治療で、折れた箇所をコルセットで支え、お薬の継続服用や点滴治療によって悪化を防ぎます。中には骨折が治らない、痛みや運動障害がおこる、折れ方によっては麻痺が出てしまう方などもありますので、そうした場合は手術治療をおこないます。



手術適用の場合はどんな手術をおこなうのですか？

折れ方にも安定型と不安定型の2通りがあります。安定型の場合は、圧迫骨折によりつぶれた骨だけをセメントで固めて痛みを止める椎体形成術をおこないます。不安定型の場合はつぶれた骨をセメントで固めるほかに、人工骨や金属のスクリューで周辺の骨から固定する方法などもあります。

手術後の再発防止方法はありますか？

半年間は堅いコルセットをしていただきます。大切なのは骨折治療が終わっても、骨粗しょう症の治療薬の服用を継続することです。一度骨折すると次の骨折リスクは高いままになるため、骨密度が高くなっても治療を続ける必要があります。リハビリもおこない、寝たきりにならないようにします。

また最近では、OLS(骨粗しょう症リエゾンサービス)やFLS(骨折リエゾンサービス)のような取り組みが広まってきています。

OLS、FLSとはどのような取り組みですか？

OLSとは、「骨粗しょう症の予防と改善、治療の継続管理」、FLSとは「二次骨折予防のための治療継続管理」をいろいろな職種で管理していく取り組みです。

OLS、FLSをスムーズにおこなうためには、病院が体制をつくり、開業医・薬局・学校などと連携して薬の継続・検査の啓発をしていくことが重要です。さまざまな職種が関与し、地域全体で治療の継続を促すことにより、骨折の

再発を防いでいきます。

すでにこのような取り組みがおこなわれている地域もあります。当院でも今後、積極的に広めていきたいと考えています。

最後に、骨粗しょう症の予防方法を教えてください。

骨質が低下しないように食事や運動が大切です。食事はカルシウム・ビタミンD・ビタミンKを摂取し、適度な運動で骨に負荷をかけます。ビタミンDの活性化のために適度に日光に浴びることも必要です。嗜好品(お酒・たばこ)も過剰摂取すると骨粗しょう症の原因となります。骨粗しょう症には自覚症状がありませんので健診も大切です。骨密度の検査を受けて早期に発見し、治療されることが必要です。まずは信頼できる開業医さんにご相談ください。

自覚症状がなく、骨折してから気がつくことが多い骨粗しょう症。「自分は大丈夫と過信しないでください。まずは検査を受けましょう」という秋山医師の言葉を受けて、骨折しないためには早期発見・早期治療が大切ということがよくわかりました。



プロフィール



整形外科 部長
秋山 典宏
(あきやま のりひろ)

日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科専門医・指導医
日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医
日本骨粗鬆症学会 認定医

ひまわり表紙のコメント

秋山医師による化膿性脊椎炎と腰椎圧迫骨折の患者さんに脊椎固定術をおこなっています。写真は椎弓根スクリューをX線透視撮影をしながら椎体内に挿入している場面です。

当院のリハビリテーション

～治療からその後のフォロー体制

当院では、他職種・地域の医療機関・ご家族と常に情報を共有しながら、退院後のことも考えたリハビリテーションをおこなっています。



入院

手術
治療

早期
リハビリ

回復期
リハビリ

退院前
リハビリ

退院

看護師と連携し早期リハビリ



リハセンターでの
回復期リハビリ



在宅を想定した退院前リハビリ



カンファレンス



多職種と情報共有しながら1人ひとりに
適応したリハビリをおこない、退院後の
生活を考えて進めていきます。

退院調整カンファレンス



当院オリジナルのマニュアル



ご自宅でもわかりやすいように、
患者さんに配布しています。

医工連携のご紹介

～当院の臨床工学技士による開発

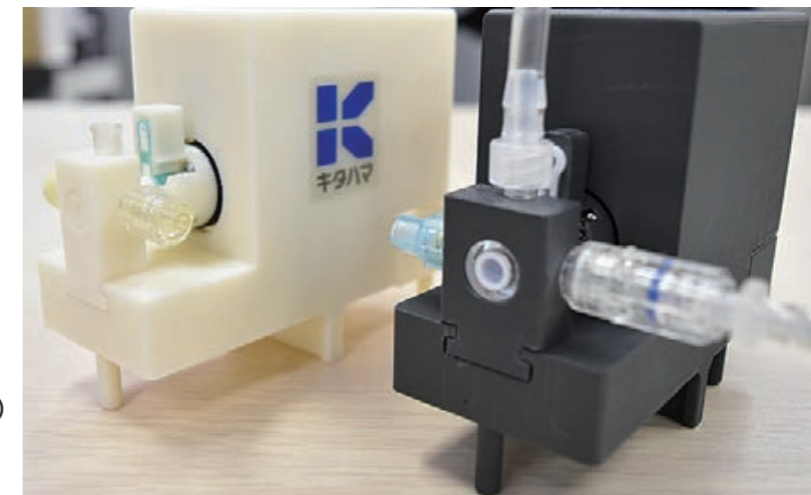
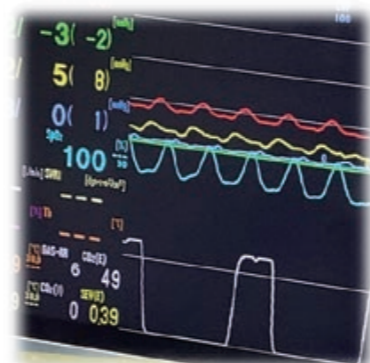
臨床工学科 科長 篠原 智誉

医療現場の課題や業務改善などを目的として、「ものづくり企業」といわれる産業界の力を借り、医療機器開発に至るケースが増えています。産業界もまた、臨床現場のニーズをヒアリングし、自社の製品開発スキルを生かしたビジネスに変えることで患者さん、医療従事者、機器製造会社の3者がともにWin-Win-Winとなる関係を構築することが理想です。当院では、医工連携小委員会を立ち上げ、当院でも連携体制を構築しています。

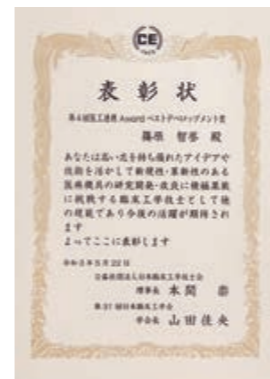
臨床工学技士による機器開発をご紹介します

医工連携により、三方活栓コックをモーターで間欠的に動作させる装置を開発いたしました。開心術にもちいる人工心肺操作中、人工肺から排出されるガスの流れを本装置で交互に切り替えることにより、麻酔モニタでCO₂ガス濃度をモニタリングできるようにした測定補助装置です。

临床上、血液中のCO₂ガスのモニタリングは欠かせません。この装置があれば、専用のセンサーや、血液を採取して分析することなくモニタリングができます。



機器名称：EVARECTA™ (エバレクタ)
開発企業：株式会社北浜製作所、
NES株式会社



このたび、画期的な手段であることが評価され、
21年度日本臨床工学技士会主催、
第4回医工連携Awardにおいて、
[ベストディベロップメント賞] をいただきました。

製品および開発詳細は
EVARECTAの公式ウェブサイト
evarecta.comをご覧ください。



これからも患者さん、医療従事者からの多様なニーズ、臨床課題を工学的な見地から解決できる開発を医工連携して継続していきたいと思ひます。

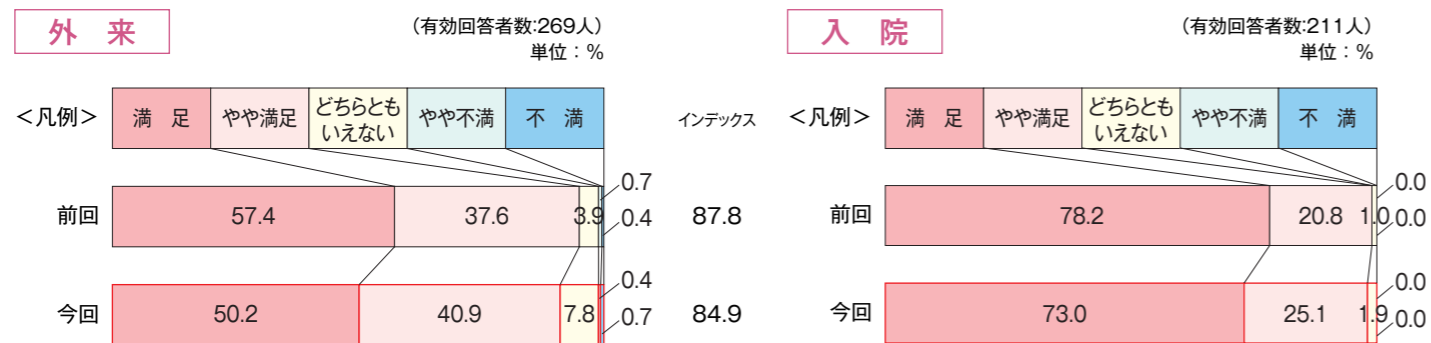
患者満足度調査のご報告

当院では平成19年度より毎年患者さんの満足度調査を実施しています。その結果を基に問題点を改善し患者さんの満足度の向上に役立っています。調査にご協力頂いた方々に感謝申し上げますとともに調査結果をご報告いたします。

調査結果より

満足・やや満足と答えた人は、外来で91.1%、入院で98.1%、やや不満・不満と答えた人は外来で1.1%、入院で0%という結果でした。前回に比べ外来でやや不満・不満と答えた人の割合が前回調査より増えました。結果を真摯に受け止め、課題を明確にして改善に努力いたします。

総合的な満足度



【外来患者満足度調査】

・調査実施日：令和3年11月5日～11月20日
・配布数：500件（有効回収数354件・有効回収率70.8%）

【入院患者満足度調査】

・調査実施日：令和3年7月1日～9月3日
・配布数：500件（有効回収数255件・有効回収率51.0%）

CS※活動のご報告

※Customer Satisfaction 顧客満足度=患者満足度

『何時でも患者さんの身になって考え行動します』という当院の行動指針を実現するため、2010年度から全職員参加型のCS活動をおこなっています。

主な活動内容としては、

- 患者さんからのご意見・要望・苦情などの情報共有をおこなう。
- 患者満足度調査を実施し、結果を公開する。
- 毎年度、スローガンを設定してポスターを作成し広報する

その他には、各部署が取り組んだ活動の成果をポスターにして掲示し、発表会をおこなうなどの活動をしています。（今年度は感染予防のため発表会は中止）

昨年度のスローガンは「笑顔はひとを安心させる マスクの中からあふれるスマイル」を掲げ、各部署が活動しました。新型コロナ感染によりマスク着用を強いられる環境だからこそ、笑顔で対応出来るよう職員一丸となって取り組みました。

次号以降に、その中から何点か紹介いたします。



新任医師のご紹介

心臓内科 医師



手塚 祐司（てづか ゆうじ）

平成23年に京都府立医科大学を卒業し初期臨床研修終了後、京都市や滋賀県の病院で循環器内科、糖尿病・内分泌内科の診療に携わってまいりました。三菱京都病院で担当いたします。動脈硬化性心血管疾患や心不全や不整脈などの診療に活かしたいとおもいます。

高度であたたかい医療を心がけ、地域の方々の健康に貢献できるよう地域の先生方と連携し診療をおこなってまいります。

専門・意分野

循環器疾患一般

資格

- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本循環器学会 循環器専門医
- ・日本糖尿病学会 糖尿病専門医
- ・日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医
- ・日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医
- ・日本医師会 認定産業医

理学療法士が紹介！ 自宅ですぐにできるストレッチ・筋トレを理学療法士がご紹介するコーナーです。寝たきりにならないため骨・関節・筋肉を鍛え、健康寿命を延ばしましょう。

健康ストレッチ

第13回

「骨トレ」



理学療法士
平山 善康
(ひらやま よしやす)

今回は、「骨トレ」をご紹介します！

骨折の原因となりやすい骨粗しょう症。適度な運動は、骨密度を増加させると言われています。骨トレは骨に適度な負荷をかけることで、骨密度の低下を防ぎます。



①

壁で支えながらかかと先立ちになります。



②

ストーンとかかとを下ろす。（そっとおこなう）



③

①、②を無理のないように繰り返します。

医師と相談の上運動するようにしましょう。

ワンポイントアドバイス

その他、今までにご紹介いたしました「片足立ち(第9回)」、「スクワット(第7回)」やウォーキングなども効果的です。

